

(5) 花づくり

生活文化の向上によって花を飾る家庭が増え、花がよく売れるようになってきています。

菊、アルストロメリア、ストック、ギガンジュウムなどが栽培されています。畑から切り取った花は、いらぬ葉を取り除き、長さをそろえて束ねられ、箱詰めされて、JAに運ばれます。そこから、東京方面の市場へトラックで送り出されます。

いろいろな花苗をたくさん育てている所もあります。育てられた花苗は、自分の家で売ったり、園芸店や、スーパーなどに出荷されています。



(6) JAの働き^{はたら}

私たちの村には、JA会津よつば湯川支店^{してん}があります。JAは、農家の人たちが、お金を出し合^くって仕事や暮らしをよくするためにつくったもので、農家の人たちのためにいろいろな仕事をしています。

農家でとれた農作物^{のうさくもつ}は、JAに集められます。JAでは、運ばれたものを検査^{けんさ}したり、形や大きさをそろえたりして、ほかの市や町に送り出します。こうすると農家の人の手間^{てま}がはぶけ、品物^{しなもの}がそろうので、売るのにつごうがよいからです(共同販売^{きょうどうはんばい})。

JAでは、農作物がよい値段^{ねだん}で売れる市場^{いちば}を調べ^{しら}て送り出します。

○JAのおもな施設^{しせつ}



ライスセンター



カントリーエレベーター

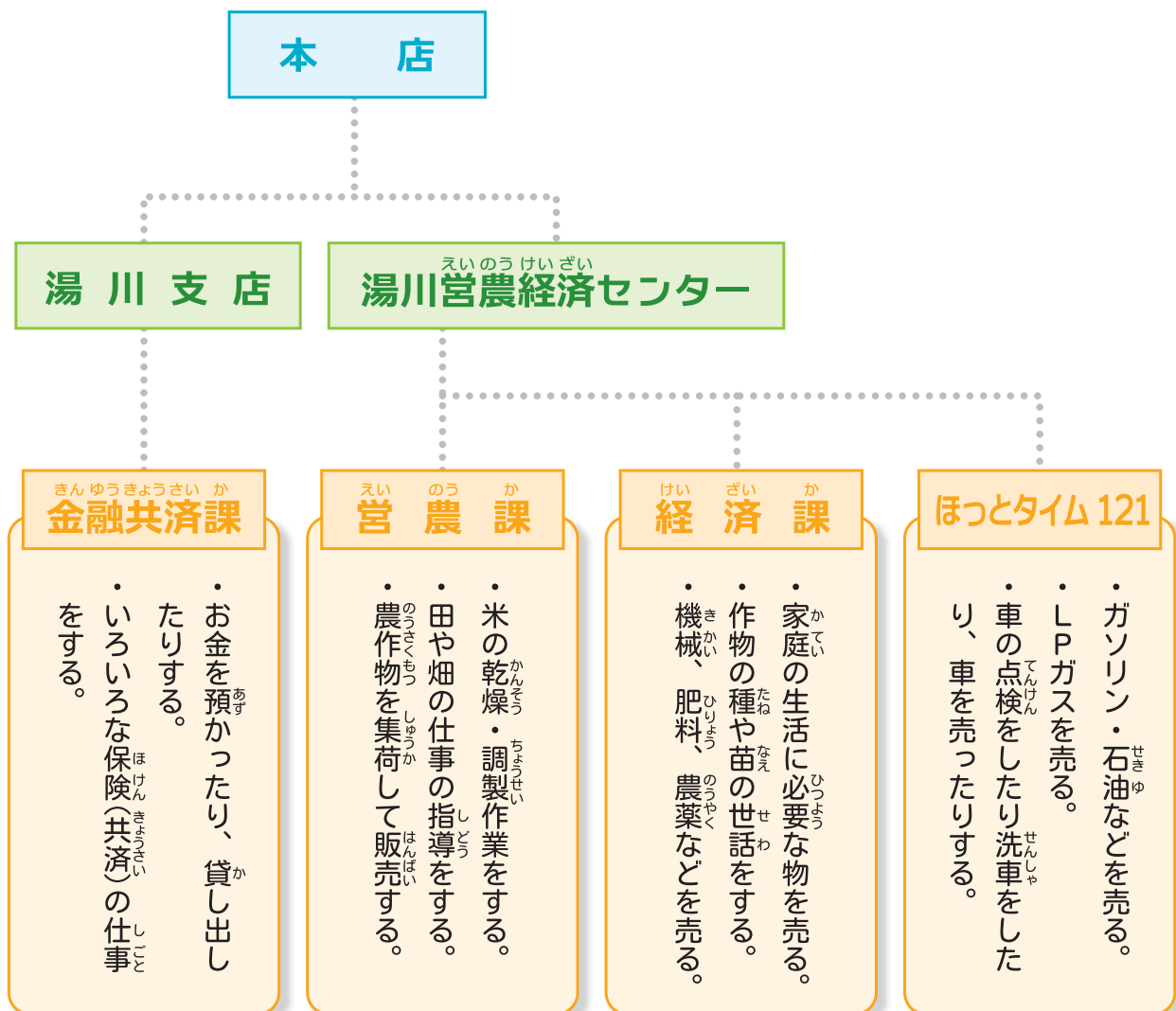


そう 倉 庫



JA会津よつば湯川支店^{してん}

会津よつば農業協同組合組織図関係



(7) これからの村の農業

①農業の大切なわけ

私たちが生きていくためには、食べ物はなくてはならないものです。
この食べ物を生産するのが、農業です。自然の力を利用して、安全で新
鮮な食べ物を生産する大切な職業です。

また、農業には、四季おりおりの自然があり、社会全体に「うるおい」
を与えています。洪水などの災害を防ぐ働きもあります。

②これからの農業

わが国では米は自給^{じきゅう}する考えですが、人口^{げんしゅう}の減少やごはん以外のものを食べるようになったことで、米の消費^{しょうひ}は年々少なくなっています。米の生産量^{せいさんりょう}と消費量^{しょうひりょう}がつりあうように食糧不足^{しょくりょうふそく}に備える「備蓄米^{びちくまい}」や家畜^{かちく}の餌^{えさ}の「飼料米^{しりょうまい}」、菓子^{かし}などに利用する「加工米^{かこうまい}」などに向けた米作りも行っています。田の一部を、そば、大豆、野菜、くだもの、花類^{はなるい}なども栽培^{さいばい}したり、牛などの畜産^{ちくさん}と組み合わせて利益^{りえき}を上げるようにしたりしています。

また最近では、農家の高齢化^{こうれいか}が全国的に急激^{きゅうげき}に進んでいて、田んぼや畑^{こうさくほうきち}の耕作放棄地^{こうさくほうきち}が増えています。そのため若い人の農業後継者^{のうぎょうこうけいしゃ}の確保^{かくほ}や田畑を守るため、湯川村に「会津湯川ファーム」という会社が作られました。

今後も、農家の高齢化や農業をやる人が減ることが予測^{よそく}されるので、これらの工夫^{くふう}や方法が考えられています。

- ①寒い冬でも栽培^{さいばい}できるように、ハウス栽培をもっと工夫^{くふう}して利益^{りえき}のあがる作物を多く作る。
- ②農家の一人一人が機械をもっていたのでは、お金がかかりすぎ、機械^{きかい}を有効^{ゆうこう}に利用^{りよう}されないので大型トラクターなどの機械^{きかい}の共同利用^{きょうどうりよう}やコンクリーエレベーター^{コンクリーエレベーター}を利用して生産費^{せいさんひ}を低くおさえる。
- ③農業をやめる人の田や畑を担い手の農家へ集約して、大きな面積でも効率^{こうりつ}が良く作業ができるようにする。
- ④湯川村で、「会津湯川ファーム」という会社を立ち上げ、作業をうけおようにする。

2.人びとのくらしと商店のはたらき

(1) いろいろな店

湯川村の商工会には約70軒が加入しています。そのうち、飲食店や品物を並べ、お客さんと対応している店は約25店舗あります。売っている商品が違っただけでなく、店の大きさや働いている人の数なども店によって違います。商店は家族で働いているお店が大半です。

○店で働く人の数(人)

業種別	ちくない地区内	じゅうぎょういんすう従業員数				
	じぎょうしよすう事業所数	0	1～2	3～5	6～20	20以上
けん建設業	15	3	4	6	2	0
せい製造業	9	2	1	1	2	3
おろし卸売業	1	1	0	0	0	0
こうりぎょう小売業・飲食店	30	17	7	3	2	1
サービス業・その他	15	8	4	1	2	0
計	70	31	16	11	8	4

平成30年度調べ(商工会)

○湯川村の店の種類と数(軒)

しょく食料品店	1
たばこ・雑貨・酒店	11
ふとん店	1
せい精肉店	1
のう農産物店	1
えん園芸店・苗店	2
し飼肥りょう料店	2
けい鶏卵店	1
コンビニエンスストア	2
みち道のえき駅	1
いん飲食物店	4
合計	27

むかしは、湯川村は集落が点在しており、各集落にいろいろな店があり、近くの店でだいたいの用が足りましたが、交通の便がよくなり、人びとのくらし方が変わってくると、買い物の様子も変わり、商店の数も減ってきています。

しかし、交通手段のないお年寄りの人たちや子どもたちにとっては、近くの商店はなくてはならないお店となっています。

○湯川村^{しょうこうかい}商工会のお話

昔からある商店が、後^{あとつ}継ぎがいなく閉店^{へいてん}するお店が多くあります。20年前^{くら けん げんしょう}と比べ14軒も減少しました。それは車社会になったことで、同じ品物でも種類^{しゅるい}がたくさんあって、より安い^{ね だん}値段の品物を他地域^{た ち い き}で買うことが出来るようになりお客さんが減^へったからです。

でも、車のないお年寄^{としよ}りには、なくてはならない近所^{きんじょ}のお店であり、店主^{てんしゅ}と会話^{かいわ}をするのを楽しみにしている人も多くおります。野菜やお土産^{みやげ}が多く並ぶ道の駅^{なら}は地元^{じもと}の人たち以外^{い が い}にも多くの観光客^{かんこうきゃく}で賑わっています。

最近^{さいきん}、湯川村にもラーメン屋さん、カフェなどの飲食店^{いんしょくてん}もできました。



商工会^{※4}の人たちは、新しい時代にそなえ、何^{なん}度も話し合いをかさねながら、協力^{きょうりょく}し合っていくことを約束^{やくそく}しています。

※3 商店会……店をだしている人たちの会。

※4 商工会……商業、工業にたずさわっている人たちの会。

○湯川村のいろいろなお店



えん げい 店
園 芸 店



ふとん 店
ふとん 店



せい にく 店
精 肉 店



魚 屋
魚 屋



いん しょく 店
飲 食 店



し ひりょう 店
飼 肥 料 店



のう き ぐ 店
農 機 具 店



コンビニエンスストア

○道の駅^{えき えきちょう}駅長さんのお話

湯川村は、会津盆地^{あいづ ぼんち}の中央^{ちゅうおう}にあたり、あいづのへそと言われています。そのため湯川村と会津坂下町の共同で整備^{せいび}されたのが「道の駅^{みち えき}あいづ湯川・会津坂下」です。

この駅は「人の駅・川の駅・道の駅」という3つの願い^{ねが}がこめられています。湯川村と坂下町の人たちが豊^{ゆた}かになるような施設^{しせつ}としての『人の駅』、川の近くにあるので災害^{さいがい}が起きた時に人々を守る施設としての『川の駅』、いろいろな地域^{ちいき}の人々が立ち寄り交流^{こうりゅう}を深められる施設としての『道の駅』になればと考えています。

出会い、交流^{こうりゅう}によりおいしい、楽しい、おしゃれでワクワクするような時間を会津の人たち、そして観光^{かんこう}のお客様^{きやくさま}と共有^{きょうゆう}できることを目標^{もくひょう}にしています。



道の駅店内



道の駅^{がい}外観



(2) 国内^{こくない}やほかの地域^{ちいき}や外国^{がいこく}とのつながり

ほかの地域^{ちいき}とのつながり

それぞれの店にならんでいる品物^{しなもの}は、どこで作られ、どのように運ばれて来るのでしょうか。ある食料品店^{しょくりょうひんてん}と、ふとん店^きで聞いてみました。

しょくりょうひんてん

食料品店の人の話



魚や、くだもののほとんどが会津若松^{いちば}の市場^{いちば}に行^いって直接^{ちよくせつ}仕入れてきます。

市場には、宮城^{みやぎ}、新潟^{にいがた}は勿論^{もちろん}、各産地^{かくさんち}から、関東^{かんとう}、関西^{かんさい}の製造元^{せいぞうもと}から、主にトラックで運^{はこ}びこまれた品物^{しなもの}が並びます。

酒^{さけ}やお菓子^{かし}などは、会津若松市^{あいづわかまつし}や喜多方市^{きたかたかた}、坂下町^{ばんげまち}の間屋^{とんや}さんが、必要^{ひつよう}な分^{ぶん}だけ電話^{でんわ}で連絡^{れんらく}するととどけてくれることになっています。

ほとんどの品物は、近くの市や町から来ていると言えます。

また、村^{むら}は高齢^{こうれい}のお客様^{こうれい}も多いため、電話^{でんわ}で注文^{とど}を受け、家^いまで届けたり移動販売^{いどうはんばい}をしたりしています。

ふとん店の人の話



阪神大震災^{はんしんだいしんさい}の時のニュースで私の目^めに印象的^{いんしょうてき}だったのは毛布^{もうふ}を持って駆け出^かす人々^{ひとびと}の姿^{すがた}でした。空気^{くうき}の次^{つぎ}に大切な睡眠^{すいみん}、その環境^{かんきよう}を提供^{ていきよう}させていただ

いていることに喜びを感じて仕事^{しごと}をしています。

打ち直^うしするよりも、安い^なふとん^おを買い、古^{ふる}くなったら捨^すてて新しいの^{あたら}し^{しい}のを買^かうといった考^{こう}え^えの^の人^{ひと}が多^{おほ}い時代^{じだい}ですが、地球^{ちきゅう}にやさしいリサイク^るル^るをしてほしいです。インド^{いन्द}の綿^{わた}は繊維^{せんい}が太^{ふと}くふとん^んに適^{てき}しているので使^{つか}っています。



こうしてみると、湯川村の商店の店さきにならぶ商品も、福島県内は
もちろん、日本各地のいろいろな地域から送られてくることがわかりま
す。店にならぶ商品を通して、わたしたちの湯川村も日本各地の市や町
とつながりをもっていることがわかります。

外国とのつながり

空や海の交通機関の発達で、日本と外国との貿易がさかんになり、そ
れにつれて、世界各地の商品が日本に入ってくるようになりました。

わたしたちの村にも、外国の商品が入ってきています。

中国製の衣料品、いろいろな国の果物や、魚介類もたくさん売られる
ようになってきました。

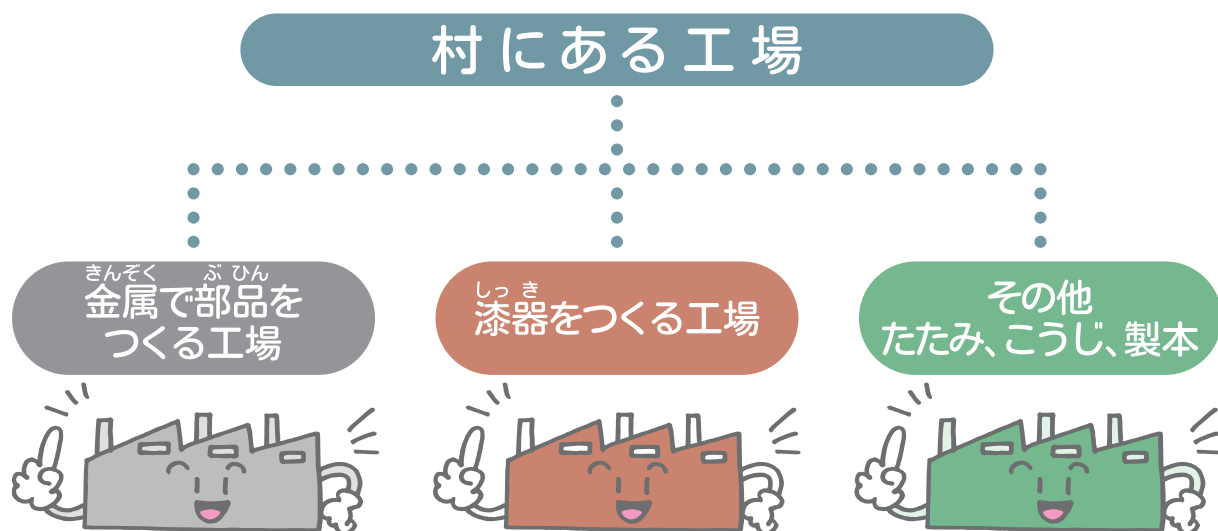
こうした外国とのつながりは、これからますますさかんになっていく
だろうと予想されます。

3.人びとのくらしと工場の仕事

(1) 村の工場の仕事

私たちの村には、「金属^{きんぞく}でいろいろな物の部品^{ぶひん}を作る工場」や「漆器^{しっき}・「たたみ」・「こうじ」などをつくる工場があります。

笈川地区には工業団地があります。



(2) 村にある大きな工場の仕事

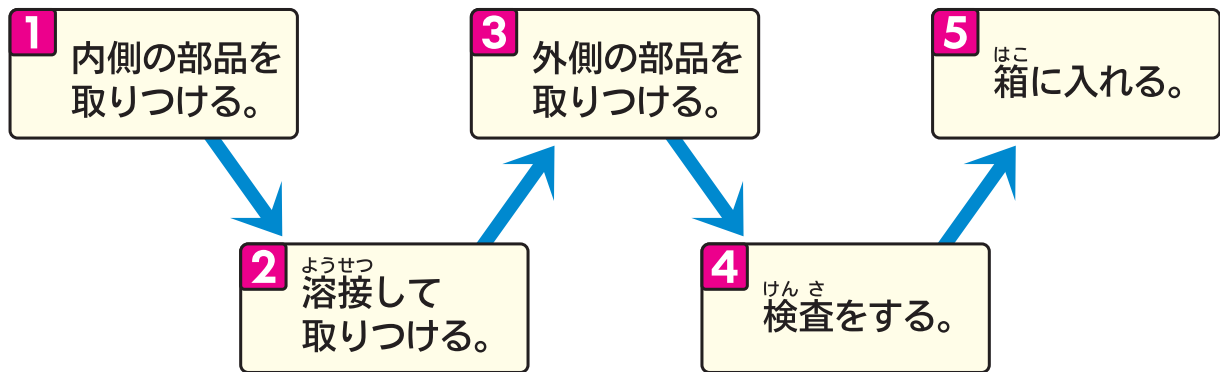
村の工業団地にある工場は、第一工場が平成7年1月に、第二工場が平成7年12月にそれぞれ仕事を開始しました。作っている物は冷凍庫^{れいとうこ}・冷蔵庫^{れいぞうこ}・空気調節機器^{くうきちょうせつきき}などの部品です。

工場見学



工場のたて物のようす

○製品ができるまでの^{じゅんじょ}順序



○工場の中と働いている人のようす

(工場の中は撮影禁止ですが特別に許可をいただきました。)



せいぞう製造されるエアコンの部品



左の部品を組み立て^{けんさ}検査をしているところ



上の写真の部品の組み立てをおもにロボットで行っているところ



溶接をするロボット



最後の検査を行う



トラックで出荷する準備

はたらいている人

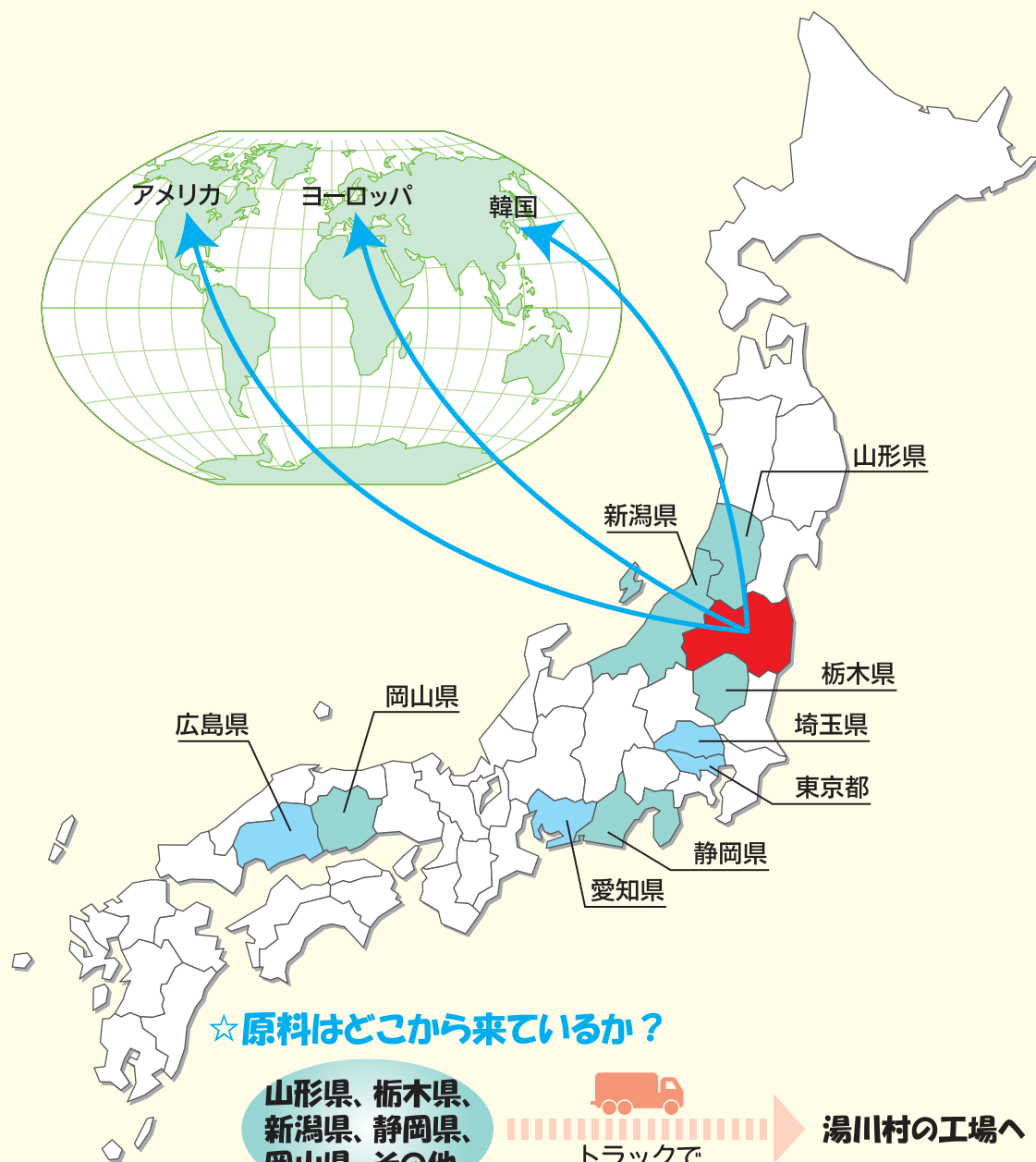
自分の仕事に一生けん命集中して働いている。^{はたら}

若い人が多い。

立ったままはたらいている。(10時と3時には休けいがある)

みんな同じ作業服^{さぎょうふく}を着ている。

原料はどこから？製品はどこへ？^{せいひん}



☆製品はどこへ行くのか？

湯川村の工場から

飛行機、船、トラックで

東京都、埼玉県、広島県
アメリカ、ヨーロッパ、韓国、その他

働いている人は、男子が多い(260人中198人)

働きにくる人は、会津若松市、湯川村、喜多方市の人が多く、その他の町や村からも来ています。

ほとんどの人が自分の自動車に乗って通勤しています。(近くの方は、バイクや自転車の人もあります)

工場の人のお話



湯川村は土地代が安い。

優秀な人たちを集めやすい。

高速自動車道のインターチェンジに近いなど良い点がたくさんあります。

国内、海外でも常に高い評判をえています。これからもますます質の良い製品を作るために努力していきます。

○湯川村の工場で作る製品



大型エアコンの部品



大型エアコンの部品



ブレーキの部品



ブレーキの部品

○湯川村の工場^{せいひん}でできる主な製品



記念の塔^{とう}



橋の手すり^{はし}

どちらも注文を受けて
設計^{せつけい}図^ず通りにつくります



注文^{せいみつ}をうけて作った精密^{きかい}機械^{かい}をつくるための機械



みそ



こうじ



かみ だな
神 棚



ぶつ だん
仏 壇

Ⅲ 住みよい生活

1. あんぜんな生活

(1) 火事をふせぐ

火事は、人の生命やざいさんをいっしゅんにうばってしまうおそろしい災害です。

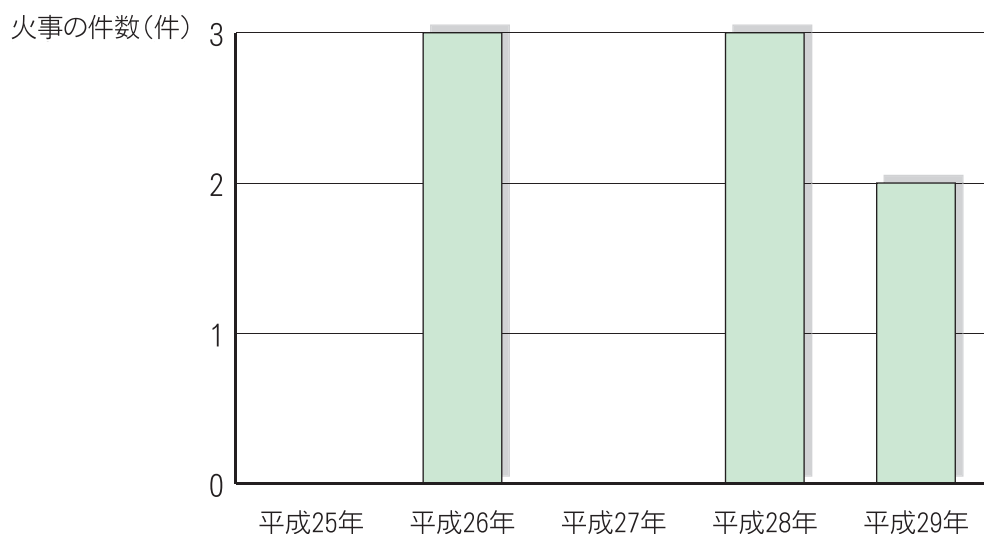
火事からわたしたちの生命やざいさんを守るために、湯川村ではどんな人たちが、どのような活動をしているのでしょうか。

火事の原因

5年間に湯川村でおきた火事の件数を会津若松消防署十文字出張所で聞きました。

グラフを見ると、湯川村でも火事がおきているのがわかります。これらの火事は何が原因でおきているのでしょうか。

○ 湯川村の火事の件数（十文字出張所調べ）



○火事の原因(過去5年間)^{か こ}

原因					件数
せき	ゆ	ス	ト	ー	0 件
コ		ン		口	0 件
ふ		ろ	呂	が	0 件
ほう				ま	2 件
た		き		金	0 件
ふ				火	0 件
木				び	4 件
た		ば		明	1 件
そ		の		こ	1 件
				他	1 件



火事は、いろいろな原因^{げんいん}でおきることがわかります。

消防のための協力

火事は、いつどこでおきるかわかりません。そこで、火事がおきた場合には、いつでも、どんな場所でも、すぐに火事が消せるようにしておく必要があります。その中心となるのが消防署や分署・出張所です。

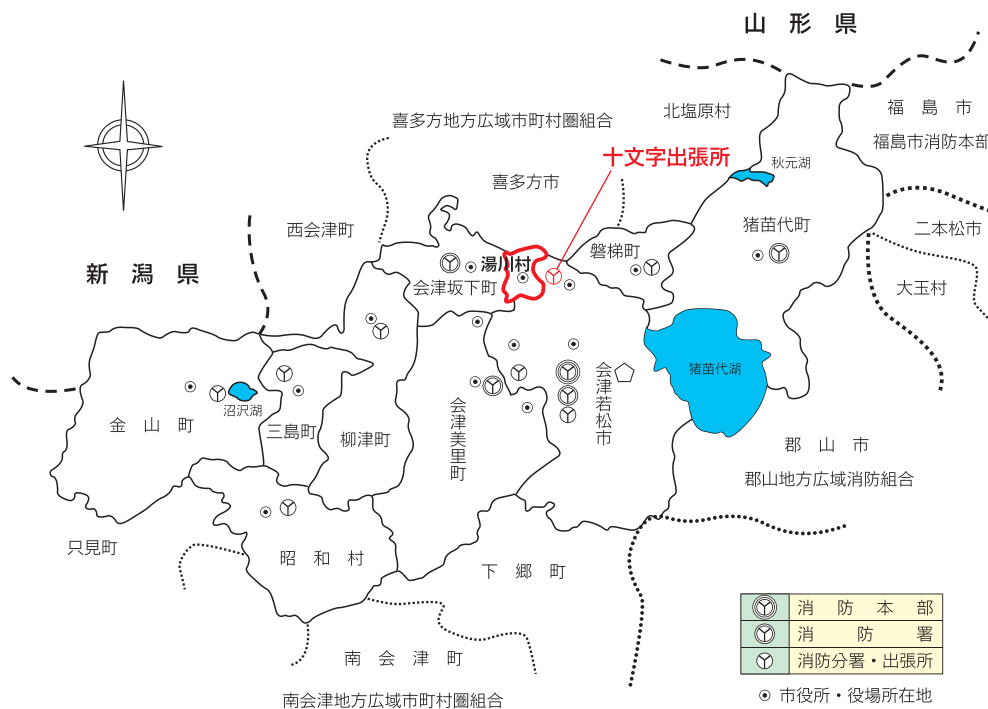
会津若松市を中心にした会津盆地^{ほんち}の広い地域で、13の市町村が組合^{くみあい}を作り消防活動^{しょうぼうかつどう}を行っています。その中には、わたしたちの湯川村もふくまれています。会津若松市に消防本部があります。湯川村は分署がないので、近くの会津若松消防署^{じゅうもんじ}十文字出張所^{しゅつちやうじょ}と連絡^{れんらく}を取り合っています。



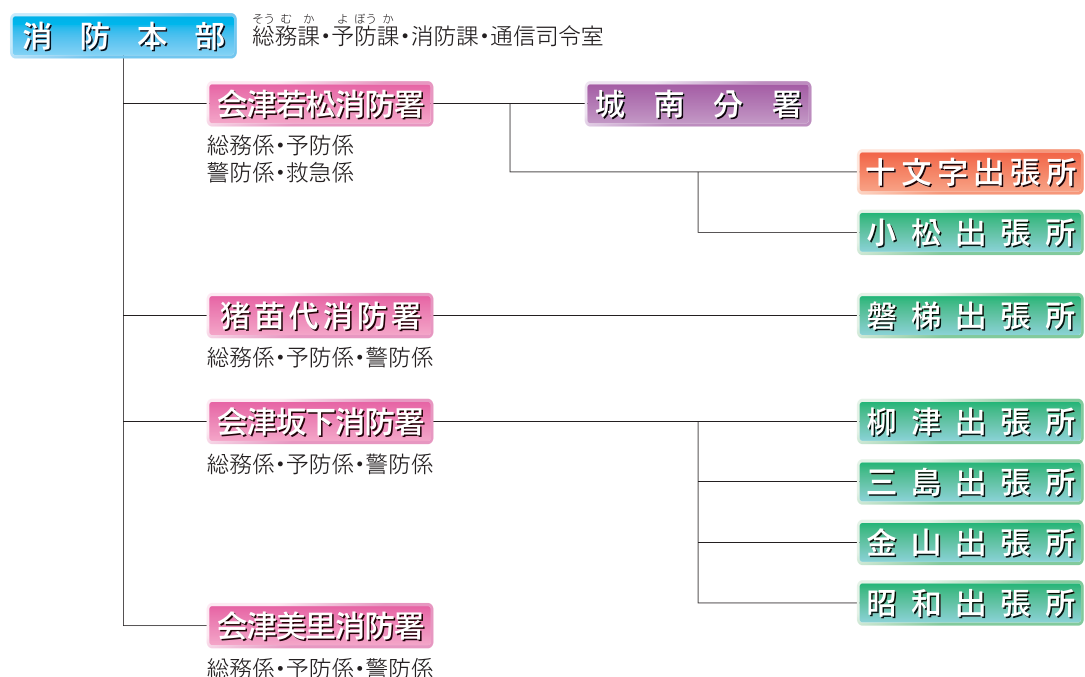
会津若松消防署十文字出張所

湯川村で火事がおこったときは、^{じゅうもんじ しゅっちょうじょ}十文字出張所から消防車や救急車^{しゅつどう}が出動します。

大きな火事があったときは、会津若松市や会津坂下町など近りんの消防署からもポンプ車が出動します。



○ 消防の組織 (H30.4.1現在)



十文字出張所の様子

わたしたちの村の消防活動を受け持っているのは、十文字出張所です。

十文字出張所では、署長と10名の署員がいます。署員が2つの班に分かれて、24時間きんむであらゆる災害にそなえています。



十文字ポンプ車

○十文字出張所の24時間（5人ずつ2交代、24時間きんむ）

午前8:30	午前0:00		午前8:30
きんむ交代	車りよう点検	○各係の仕事 予防・総務 けいぼう 警防 ○訓練	きんむ交代

十文字出張所のたて物の中には、^{じむしつ}事務室・^{かみんしつ}仮眠室・^{かいぎしつ}会議室・^{しゃこ}車庫などがあります。

事務室には、^{むせん}無線や電話などがあり、^{きゅうきゅう}火事や^{はっせい}救急の発生のお知らせを受けたり、出動した車りようと連絡を取り合ったりします。

仮眠室は、一人ずつ別々のベッドになっていて、近くには食堂もあります。

車庫にはポンプ車1台、救急車1台、^{こうほうしゃ}広報車1台があり、毎日きんむ交代した後、^{てんけん}点検を行って、いつでも出動できるようにしています。そのほかに車庫の中には、防火衣やホースがきちんとならべられ、いつでも出動できるよう^{じゅんび}準備されています。



仮 眠 室



車 庫

よ ぼうかつどう くんれん 予防活動と訓練

消防署や分署・出張所の仕事は、火を消すことだけではありません。

十文字出張所の場合、1つの班がさらにけいぼう よ ぼう そう むの3つの班に分かれて仕事をしています。このうち予防係は、学校

などでのひなんくんれんしょうかき訓練や消火器の使い方をしどうします。

また、各家庭の火を使う場所の点けんや、たてもの建物を建てるときのしどう・消火せつびのけんさも行います。

署員の人たちは、火災のない安全な村にするためには予防活動にも力を入れています。さらに、消火のためのくんれん訓練や、きゅうじょ救助のための訓練もおこなわれます。



ひ なんくんれん
避難訓練

救急車の活動

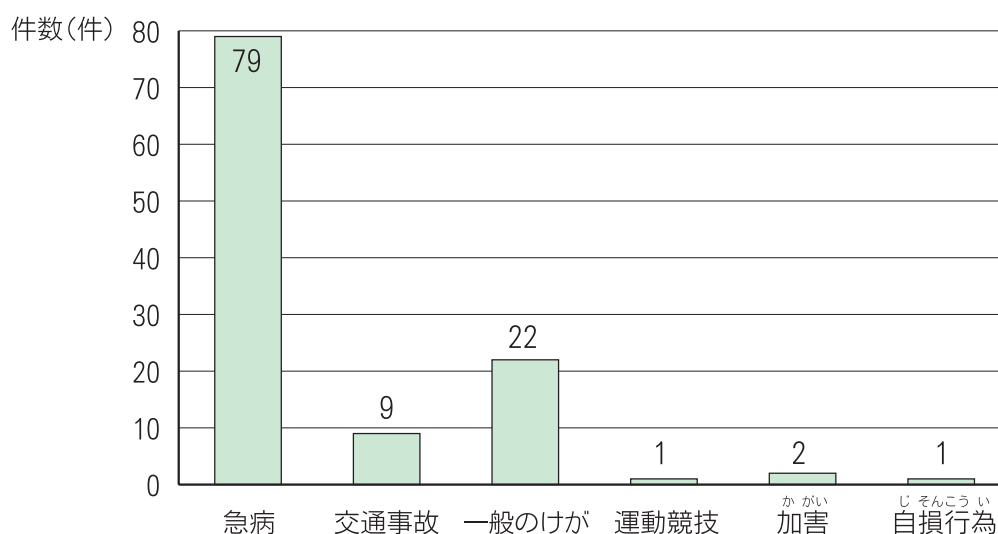
十文字出張所には、1台の救急車が^{はいち}配置されています。救急活動も消防署の大切な仕事の一つです。平成29年の1年間に、救急車は114回出動しました。湯川村の人口から考えると約30人に1人



救 急 車

が救急車を利用したことになります。114回のうち^{きゅうびょうにん}急病人の出動が1番多く、次に交通事故の出動となっています。

○湯川村の救急車の出動回数（平成29年1月～12月）



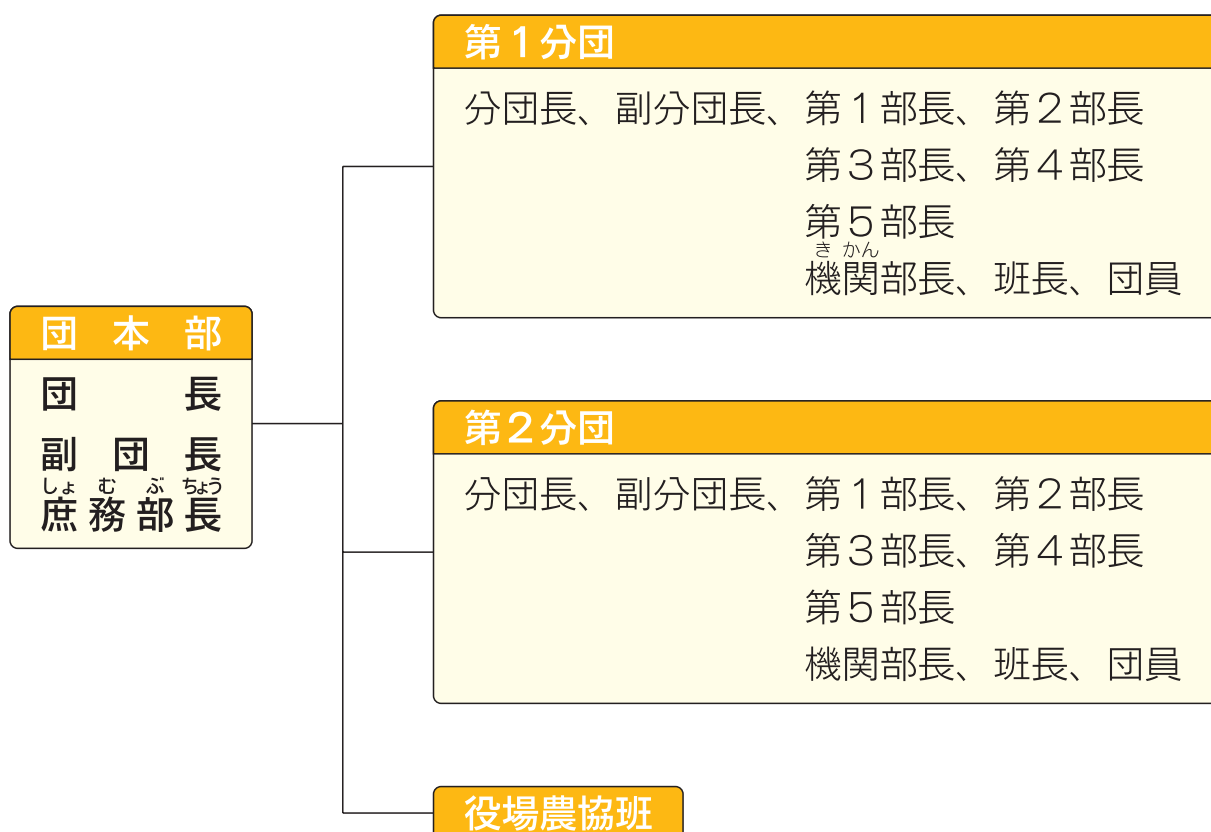
救急車1台が出動中にまた急病人やけが人がでて救急車が必要になったり、けが人がたくさん出たりした場合には、会津若松消防署や会津坂下消防署から救急車が出動します。

消防署は、火事にそなえるだけでなく、24時間いつでも救急車が出動できるように交代でつとめています。

しょうぼうだん 消防団のはたらき

十文字出張所からポンプ車が出動するまでに、火事はどんどん広がってしまいます。しかし、こういう場合いち早くかけつけて、消火活動をする人たちがいます。これが、消防団です。地いきの人たちでつくっている組織そしきです。消防団の人たちは、消防署の署員とちがい、ふだんは、会社につとめたり、自分の家で仕事をしたりしていますが、火事がおきたときには、すぐ現場げんばにかけつけられるようにしています。

湯川村には、2つの分団ふんだんがあります。それぞれの分団は、さらにいくつかの班に分かれています。すばやく消火活動ができるように消防団の人たちもふだんから訓練をつんでいます。また、分団ごとに、消防自動車・小型ポンプ車などを消防屯所しょうぼうとんしょにそなえています。





消防団の
訓練の様子



消防屯所

119番のしくみ

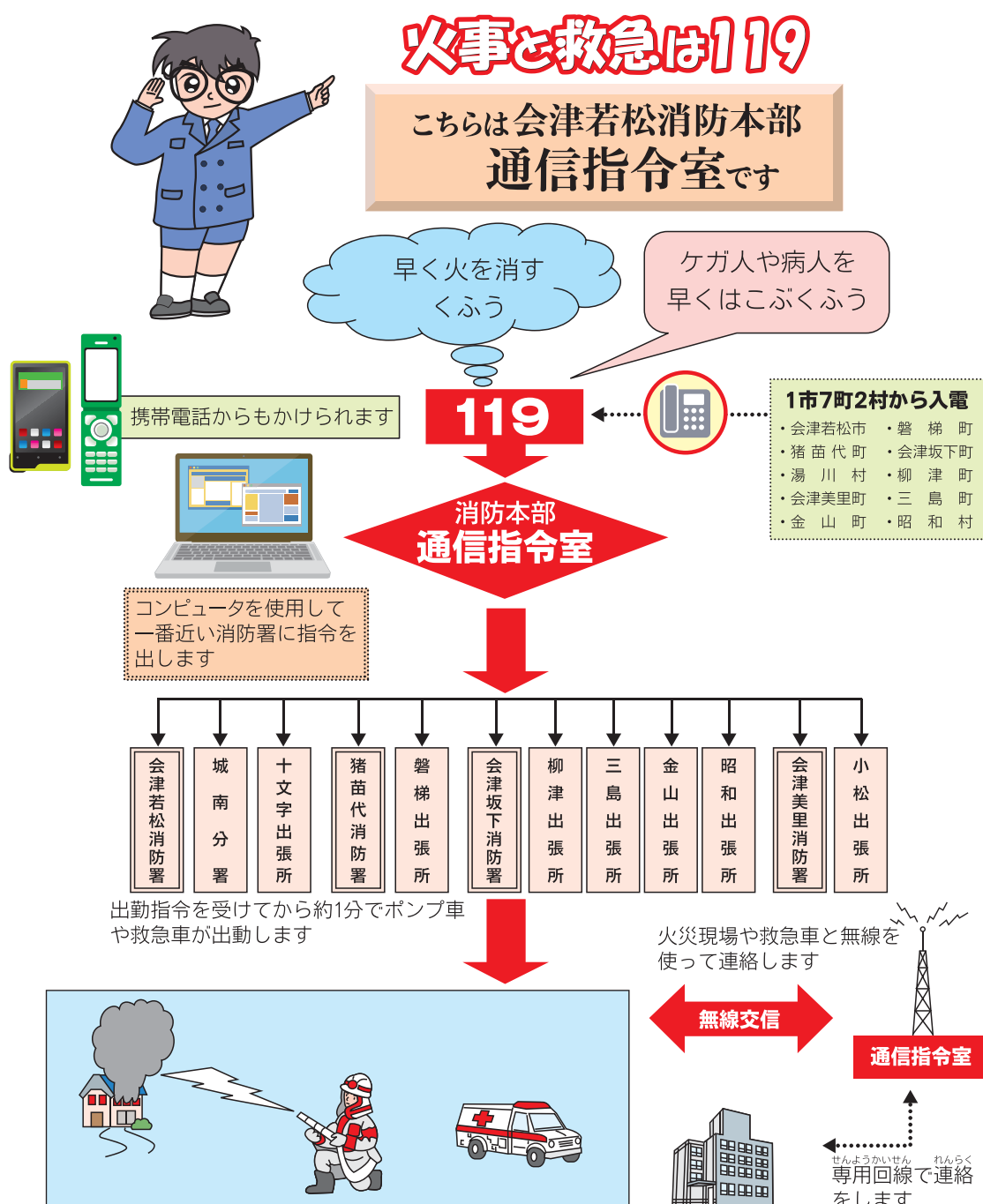
火事が発生したり、急病人やけが人が出たりしたとき、わたしたちは、119番^{つうほう}通報をします。れんらくを受けた消防署員は、すばやく、しかも正かくに現場^{げんば}にむかいます。火事の場合、消防団の人たちもすばやく集合してきます。救急の場合、消防署員や消防団の人たちがすばやく活動できるために、どんなしくみがとられているのでしょうか。

119番通報をすると、まず、会津若松市にある広域消防本部^{こういきしょうぼうほんぶ}の通信^{つうしん}司令室^{しれいしつ}につながります。通信指令室員は火事か救急かをたしかめ、場所や病人・けが人の様子、通報者の名前などを聞きます。その後、通信司令室からたんとうする署に出動指令が出され、現場にむかいます。

十文字出張所では、火事の場合、出動したポンプ車などと連絡を取ったり、広域消防本部の通信司令室と連絡を取ったりして消火活動にあた

ります。また、村役場に無線で、火災発生じょうきょうを伝えます。村役場から消防団に出動命令が出されます。

救急の場合、出動した救急車と連絡を取り合い、病人やけが人の様子などを聞き、すばやく病院に連絡をします。



(2) 交通事故をふせぐ

おそろしい交通事故

湯川村では、どのくらいの事故が発生しているのでしょうか。

湯川駐在所で調べてみました。

グラフを見ると、事故はどの季節にもおこることがわかります。



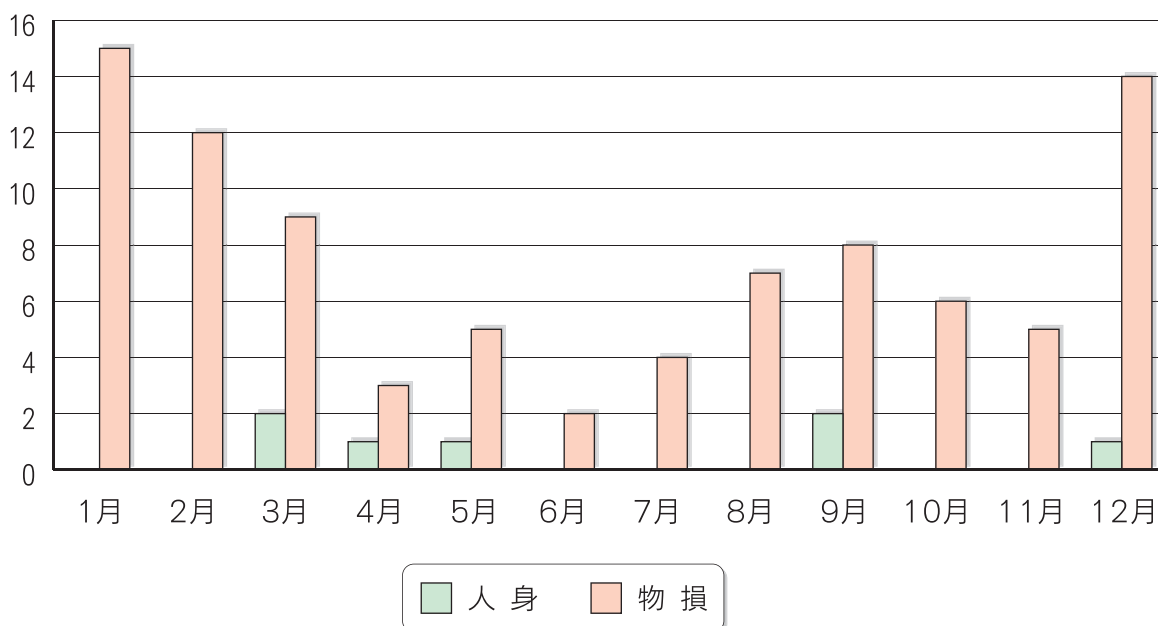
会津坂下警察署湯川駐在所

人身事故(人がけがをしたり、死亡したりする事故)と物損事故(けが人や死亡した人がいない事故)を合わせると1年間に90件もの事故がありました。平成29年には、死亡事故も発生しました。

湯川村には、交通量の多い国道49号線、121号線、会津縦貫北道路があります。この道路で、事故がおきるほかに、県道や村道でも事故がおきています。

○平成29年に湯川村でおきた交通事故（湯川駐在所）

件数(件)



しかし、交通事故はいつ、どこでおきるかわからないものです。わたしたちは、道路を歩くときも、自転車に乗るときも、いつも注意をしていなくてはなりません。また、運転する人も、いつも安全運転に気をつけて事故をふせぐようにしていなければなりません。

交通事故をふせぐ努力

交通事故をふせぎ、人びとの命を守るために、いくつかの組織が作られました。

＜湯川村交通対策協議会＞（本部・村役場）

主な活動

- 交通安全教室、講習会に協力する。
- 交通安全運動をすすめる。
- 広報、チラシ、ポスターを配布する。
- 看板、カーブミラーを取りつける。
- 道路のきけんな所を調査する。
- 交通安全パレードを行う。
- 広報車で交通安全を呼びかける。

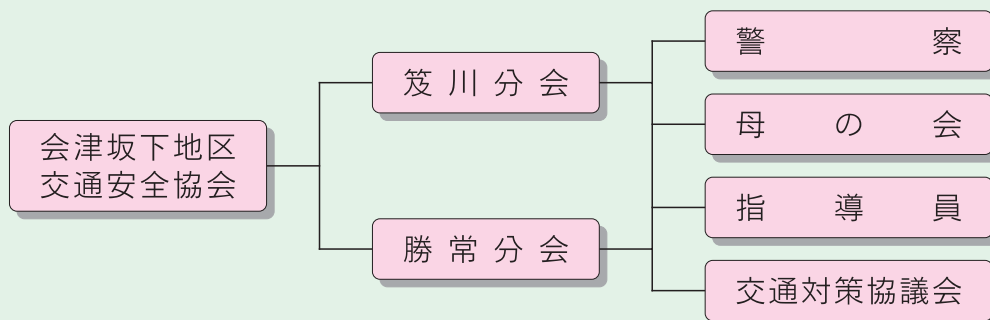


交通安全鼓笛パレード

＜交通安全協会＞

主な活動

- 交通安全教室や講習会を開く。
- 村に出て交通しどうをする。
- 祭のときに交通整理をする。



<交通安全母の会>

おも 主な活動

- ・ 幼稚園に行って紙しばいなどで交通安全のお話をする。
- ・ 交差点など道路に立って、交通安全を呼びかける。



交通安全を呼びかけている

交通事故やはんざいから人びとを守る110番

おそろしいのは、交通事故ばかりではありません。心ない人びとによるはんざいも、わたしたちの生活をおびやかします。

交通事故やはんざいにそなえて24時間体制でわたしたちの生活を見守ってくれているのが、会津坂下警察署湯川^{ちゅうざいしょ}駐在所です。ここには、常に駐在さん^{ちゅうざい}(署員^{しゅいん})がいます。事故がおきるとすぐに、出動できるしくみになっています。

110番のしくみ

<110番>

福島県警察本部
通信指令室



会津坂下警察署

湯川駐在所

十文字出張所

出動